

—表紙寫眞説明—

大阪水陸聯絡線
天保山運河橋梁徑間
78呎1連、30呎2連

本橋梁は關西本線今宮驛起點三哩三八鎖七
六節の地點天保山運河に架設せられたる昇降
橋徑間七十八呎一連、其の前後三十呎下路鋼
鈑桁二連、單線軌道にして、橋臺は基礎杭打
工、軀體コンクリート工、橋脚は樁圓形鐵
筋コンクリート井筒（長徑二十五呎、短徑
十六呎、川底以下約七十八呎沈下）基礎にし
て、軀體はレコンクリート造ります。

本橋梁は常に上昇せるを定位し、列車の
通過に際し下降せしむ。本運河通航の船舶は
概ね小蒸氣船並に比較的船足し淺きレシマ
船にして、其通航頻繁なるも大なる昇降距離
を要せざるに依り其の昇降の高さは九呎三吋
にして通常満潮面上約十二呎、干潮面上約十
八呎の空頭を有す。

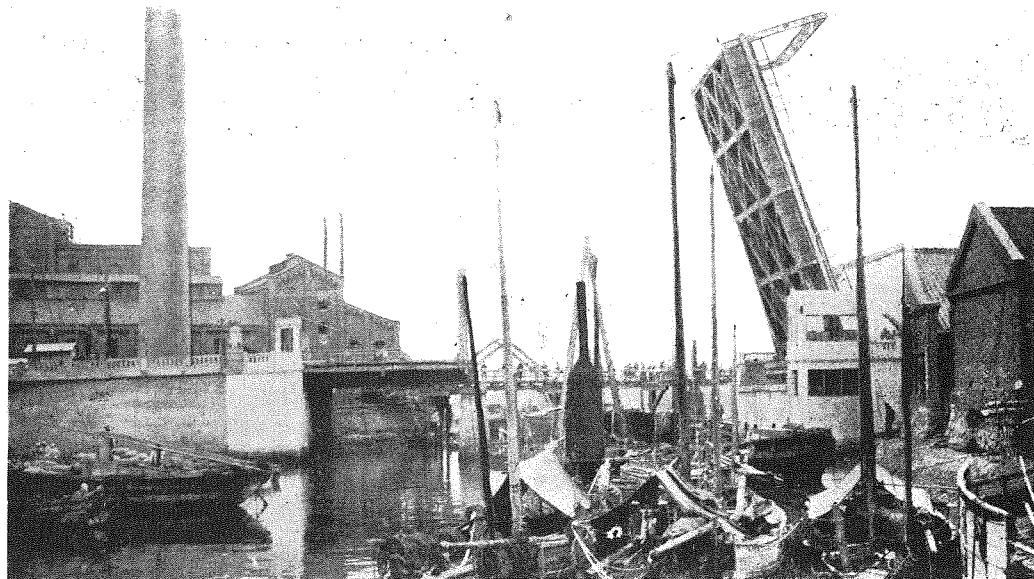
工事費概算

請負工事費	五四、〇一七、七五〇
支給材料費其他	二二、八五九、〇〇〇
鐵 桁 費	(電動機費を含む)
	三三、八二五、五〇一
桁 架 設	(レールロッキング) 据付其他)
	一八、二八六、〇〇〇
計	一一八、九八八、二五一
	(鐵道省大阪改良事務所長) 木村芳人氏稿

**神戸市都市計畫第二
期事業高松橋（舊名
運河第一橋）工事**

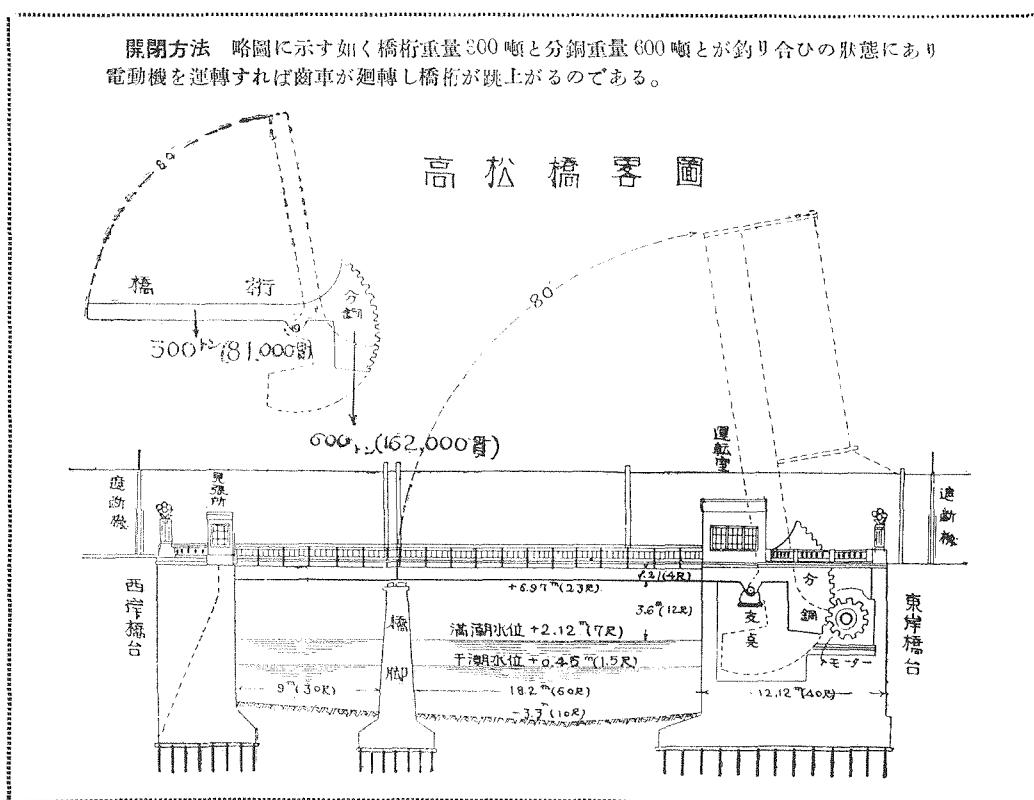
位 置	神戸市高松町東尻池町を連絡する路線中運河を横断する個所
工 事 費	397,500 圓
内	橋脚並に橋臺工事費 142,600 圓
	橋桁並に機械工事費 254,900 圓
工 事 期 間	昭和2年6月着手 昭和3年10月完成（約50日）
勞 力	職工、工夫、人夫、延 43,126 人
東岸跳上可動部	有效橋幅 18.18米、徑間 18.18米 跳上部面積380平方米 17 分20秒 跳上所要時間 1 分20秒 開閉に要する電力 1.7 キロワット時
動 力 機 械	電動機75馬力 一臺 豫備電動機75馬力 一臺 豫備ガソリン發動機30馬力 一臺
工 事 關 係 者	設計 増田淳 施工監督 神戸市都市計畫部 橋臺橋脚土木工事 大林組 鐵桁並に機械設備工事 神戸三菱造船所 (神戸市都市計畫部長) 森垣龜一郎氏稿

— 神 戸 市 の 高 松 橋 —



(1) 開閉橋を開きたる景

開閉方法 略圖に示す如く橋桁重量 300 噸と分銅重量 600 噸とが釣り合ひの状態にあり電動機を逆轉すれば歯車が廻轉し橋桁が跳上るのである。



(2) 高松橋構造略図